

赤城産業

適用範囲		モデル名		HCP4Z37	HCP5Z34	HCP4Z26		
		主仕様	吸吐弁型式	—	揺動弁	揺動弁	揺動弁	
			最大吐出量	m ³ /h	150	150	90/60	
			最大吐出圧力	MPa	87	87	70/105	
			ブーム最大地上高	m	36.5	33.5	25.2	
適用号機				HG37001～	HG34-001～	HG26D-001～		
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
作業装置	圧送装置	ポンプ本体	ピストンストローク回数 ローター回転数	回/min 回/min	32	33	34	
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	2533±50	2533±50	2533±50	
			(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	1700±50	1700±50	1700±50	
		攪拌装置	(作動油温度)	(℃)	50±10	50±10	50±10	
			回転速度	min ⁻¹	40±5	40±5	40±5	
			チェーンのたわみ	mm	N/A	N/A	N/A	
		真空ポンプ	(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	2600±50	2600±50	2600±50	
			(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	1750±50	1750±50	1700±50	
			(作動油温度)	(℃)	55±10	55±10	55±10	
		真空ポンプ	圧力設定値 (設定値到達時間)	Pa (min)	N/A	N/A	N/A	
			圧力降下許容値 (保持時間)	Pa (min)				
			Vベルトのたわみ	mm	N/A	N/A	N/A	
	ブーム装置	シリンダー 自然降下量	ブーム (1) シリンダー	mm	1.5mm以下	1.5mm以下	1.5mm以下	
			ブーム (2) シリンダー	mm				
			ブーム (3) シリンダー	mm				
			ブーム (4) シリンダー	mm				
			ブーム (5) シリンダー	mm				
			(測定時間) (作動計測条件) (作業装置姿勢)	(min) [図面No.]	(10) (-) [図 No1.]	(10) (-) [図 No1.]	(10) (-) [図 No1.]	
☆ブームシリンダー 作動時間		ブーム (1) 伸び	sec	100±10	100±10	60±10		
		縮み	sec	90±10	80±10	70±10		
		ブーム (2) 伸び	sec	120±10	100±10	65±10		
		縮み	sec	110±10	80±10	60±10		
		ブーム (3) 伸び	sec	120±10	110±10	65±10		
		縮み	sec	110±10	90±10	60±10		
洗浄装置	水ポンプ (配管洗浄用)	ブーム (4) 伸び	sec	90±10	95±10	35±10		
		縮み	sec	70±10	80±10	30±10		
		ブーム (5) 伸び	sec		50±10			
	空圧機	縮み	sec		50±10			
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2600±50)	(2533±50)	(2533±50)		
		(作動油温度)	(℃)	(55±10)	(55±10)	(55±10)		
空圧機	(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図 No2.]	[図 No2.]	[図 No2.]			
	水ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	MPa	200±3	200±3	200±3		
		油圧	MPa	15`18	15`18	15`18		
水圧 飛距離		m	20	20	20			
空圧機	吐出圧力	MPa	7	7	7			
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2600±50)	(2600±50)	(2600±50)		
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1700±50)	(1700±50)	(1700±50)		
空圧機	(作動油温度)	(℃)	(55±10)	(55±10)	(55±10)			

☆印：新車基準値を表す（参考値）。注-1 比例制御バルブにつき最大速度とする。

コンクリートポンプ車

[illegible]

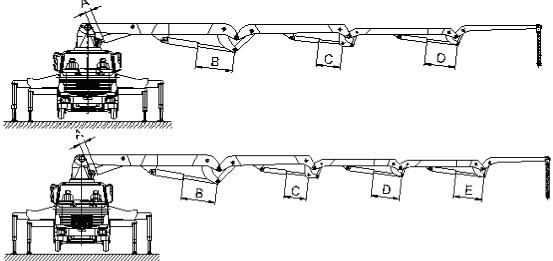
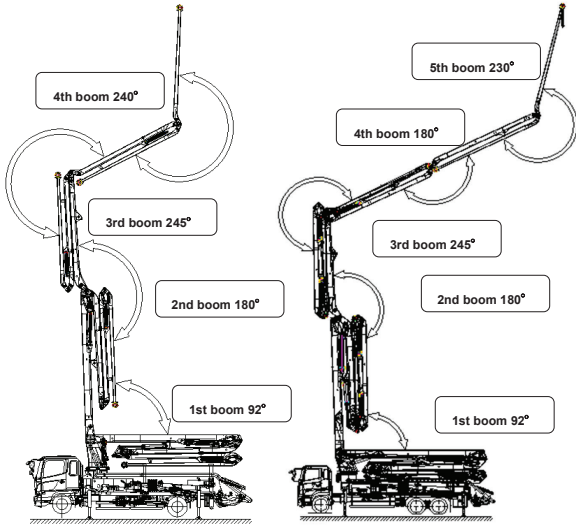
適用範囲		モデル名		HCP4Z37	HCP5Z34	HCP4Z26	
		主仕様	吸吐弁型式	—	揺動弁	揺動弁	揺動弁
			最大吐出量	m ³ /h	150	150	90/60
			最大吐出圧力	MPa	8.7	8.7	7.0/10.5
		ブーム最大地上高	m	36.5	33.5	25.2	
		適用号機		HG37001～	HG34-001～	HG26D-001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
油圧装置	☆油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	350+0/-5	350+0/-5	350+0/-5	
		弁シリンダー油圧	MPa	200+0/-5	200+0/-5	200+0/-5	
		攪拌モーター油圧	MPa	200+0/-5	200+0/-5	200+0/-5	
		ブーム油圧	MPa	350+0/-5	350+0/-5	350+0/-5	
		ACC ガス封入圧力	MPa	190+0/-5	190+0/-5	190+0/-5	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	2600±50	2600±50	2533±50	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	1750±50	1750±50	1700±50	
	(作動油温度)	(℃)	55±10	55±10	55±10		
車体・安全装置	☆ 旋回ベアリング 取付けボルト の締付け	外輪取付けボルトの 締め付けトルク	N・m	1210N・m	1210N・m	736N・m	
		内輪取付けボルトの 締め付けトルク	N・m	1210N・m	1210N・m	736N・m	
		旋回ボルトの交換基準	年	3年	3年	3年	
	☆ 旋回作動速度	旋回速度	sec	185±10	185±10	140±10	
		(旋回作動角度)	(度)	(370°)	(370°)	(370°)	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2600)	(2600)	(2533)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1750)	(1750)	(1750)	
		(作動油温度)	(℃)	(55±10)	(55±10)	(55±10)	
	アウトリガー	シリンダー 自然伸縮量	各垂直シリンダー	mm	2	2	2
			(測定時間) (作業装置姿勢)	(min) [図面No.]	(10) [図 No3.]	(10) [図 No3.]	(10) [図 No3.]
特記事項				1) 旋回ベアリング取付けボルトの中で緩み(新車基準トルク以下)がある場合は、そのボルトと両隣各2本の合計5本のボルトを交換する。また、1本でも折損脱落がある場合は外輪、内輪ともすべてのボルトを交換する。 2) ブーム装置については比例制御バルブ式に付き測定変更可能な為表示時間は通常使用時間参考値。			

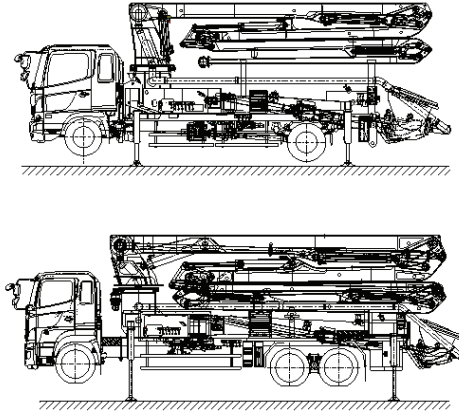
84

[illegible]

85

赤 城 産 業

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
ブーム シリンダー 自然降下	図-1 ブームシリンダ自然降下量測定姿勢 	
ブーム作動速度	図-2 ブーム作動速度計測姿勢 	

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
アウトリガシリンダー 自然伸縮	ブームを収納状態にし、 アウトリガーを張り出し、 15 分間の自然伸縮量を 計測する。	図-3 アウトリガシリンダ自然伸縮計測姿勢 
旋回作動速度	図-4 旋回作動速度計測姿勢 